

全自動洗濯乾燥機

EWW1273

設置マニュアル

AEG

Electrolux

本体設置のお願い	A	■本体の開梱	設置のための キャビネット開口	D	■キャビネットの開口 ■隣接キャビネットの開口 ■給水・排水・電源設備
設置床の補強	B	■補強方法 - 1 コンクリート全面仕上げ ■補強方法 - 2 根太+コンパネ仕上げ ■補強方法 - 3 床用支持脚仕上げ	本体設置	E	■ビルトインの手順
同梱部材の使用箇所 および部材リスト	C	■同梱部材リスト ■同梱部材の使用箇所及び接続方法			

給排水の設備は必ず設置マニュアルに従って施工してください。

適切に施工されていない場合は、故障の原因となり、保証期間内であっても修理費用が発生することがあります。

工事 される 方への お願い

- 設置工事の前に、この設置マニュアルをよくお読みのうえ正しく設置してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明下さい。この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼してください。
- 本体設置時に分解をしないでください。電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないでください。漏電やショートによる感電・火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

設計・施工者の皆さまへ

AEG - Electrolux 商品をお取り扱いいただき誠にありがとうございます。

下記のことにご注意のうえ、設計・施工くださいますようお願いいたします。



⚠ 設置場所のご注意

浴室、ベランダ（雨のあたる所）地下室等湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。絶縁不良、サビ、接触不良が発生し、故障いたします。また、感電や漏電による火災のおそれがあります。



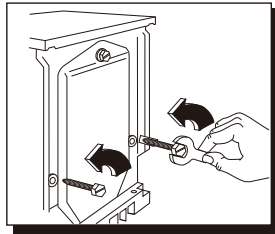
室温が0℃を下回る場所に設置しないでください。給水弁がこわれ、水漏れすることがあります。

本体設置前の準備（輸送用部材の取り外し） **!** 本設置マニュアルに従い必ず行ってください。

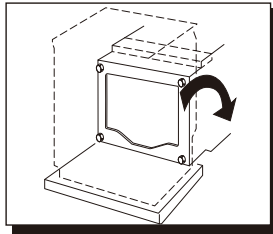
A

本体の開梱

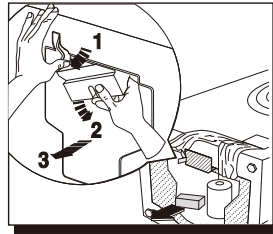
- [重要]** 設置前に必ず輸送用部材を取り外してください。輸送用部材を取り付けたままだと、異常振動が起こり故障の原因となります。
- [重要]** 取り外した輸送用部材は移設や引越しの際に必要なので、廃棄したり、失くしたりしないようにしっかり保管してください。
- [重要]** 洗濯機の重量は約 80kg あります。事故や怪我の防止のため、持ち上げる際や、移動時には十分に注意してください。



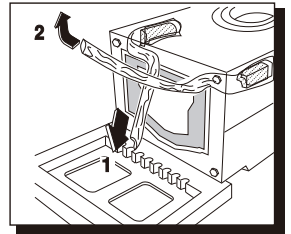
本体背面に取り付けてある輸送ボルトを六角スパナ（10 番）またはマイナスドライバーで左右2カ所のボルトと固定ピンを抜き取ります。上部のボルトはまだ、はずさないでください。



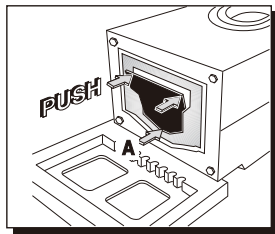
本体を静かに背面を下に倒します。ホース類や電源コードがつぶれないようにご注意ください。本体下の1カ所に梱包材をしくとホースがつぶれません。全面や側面を絶対に下にして倒さないでください。故障の原因となります。



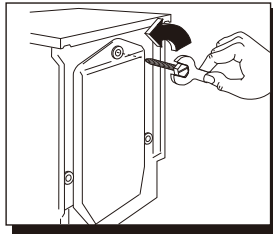
本体底部中央の発泡スチロールを取り除きます。



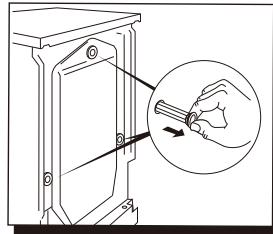
ドラムを固定している発泡スチロールを①②の順で引き抜きます。



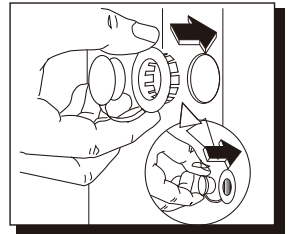
図のように付属品のボトムカバーを取り付けます。
①下部を最初に差し込む
②カバーを上部に押し込む



本体を起こし、残りの上部の輸送用ボルトと固定ピンを抜き取ります。



必ず輸送用ボルトと固定ピンで3カ所を引き抜き取られている事を確認してください。固い場所は、プライヤーなどで抜いてください。



本体に付属されている目隠しキャップで3カ所の穴をふさいでください。

設置床の補強

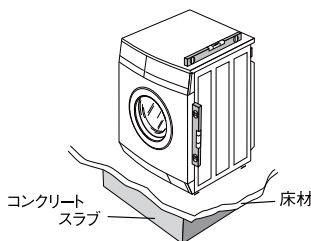
B

補強方法

- 洗濯機の重量は約 80kg ありますので、必ずコンクリートあるいは下記に示す方法で設置床下を補強してください。
- 設置床に当社指定以外の防振マット等は使用しないでください。（脱水時の振動や騒音の原因となることがあります）
- 設置床面は後で本体を引きだせるよう、水平・平坦に仕上げてください。（段差をつけしないでください。）

■補強方法-1 コンクリート全面仕上げ

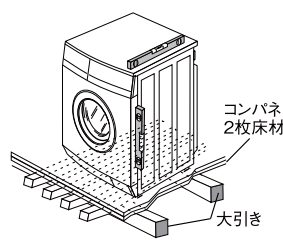
床下全面をコンクリートで仕上げる場合



! コンクリートスラブと床材は密着していること

■補強方法-2 根太+コンパネ仕上げ

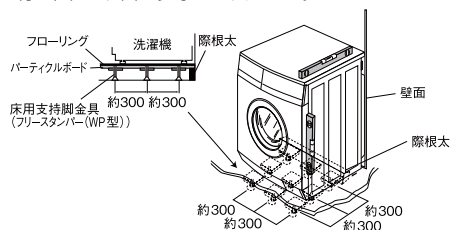
木造床下を補強する場合根太を5~6本用いて補強し、コンパネ2枚張りで仕上げる。



! 根太と床材は密着していること

■補強方法-3 床用支持脚仕上げ

マンションなどの置床の場合、設置する床下を、床用支持脚仕上げ（フリースタンパー（WP型））9本で補強します。金具の取り付け位置は、図を参考にしてください。



! フリースタンパーは機械の真下に9本均等に配置してください。

! 木造住宅の2階に設置する場合は、床の補強を指示に従って入念に行ってください。震動が階下に伝わる場合があります。

C 同梱部材の使用箇所および部材リスト

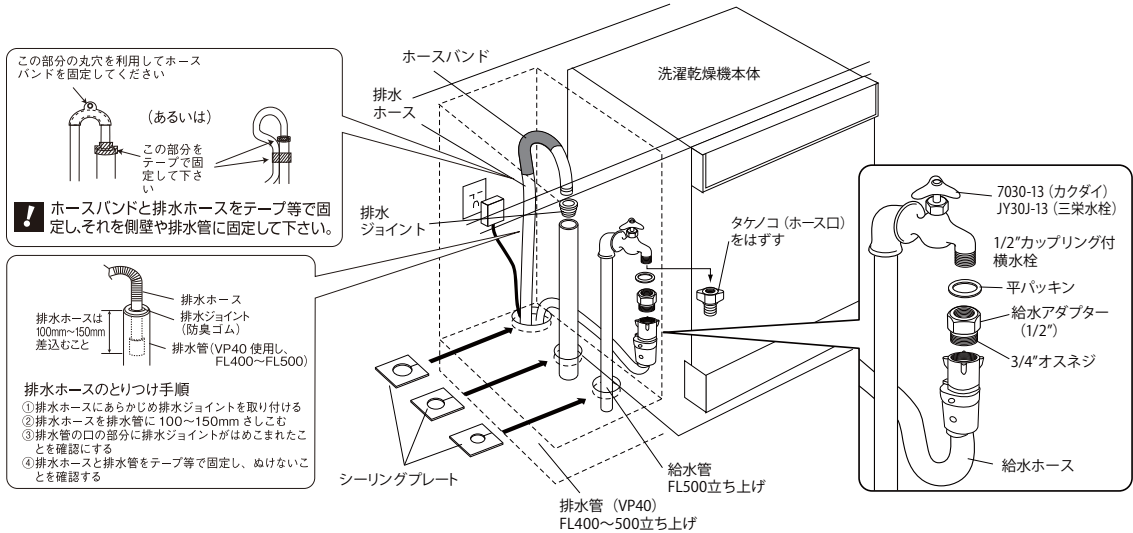
C

- 設置前に本体に同梱されている部材を確認してください。
- 万一使用方法、使用箇所がわからない部材があっても廃棄せず大切に保管しておいてください。

同梱部材リスト

○	○ (平パッキン付属)	○	○	○	○	○

同梱部材の使用箇所及び接続方法



D 設置のためのキャビネット開口

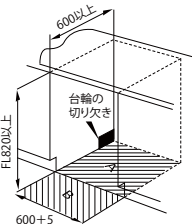
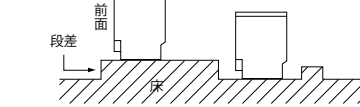
D

❗ 本体の背面への給排水設置は行わないでください。

キャビネットの開口

- 本体設置床面Aと機械前床面Bは同一レベル面（段差がないよう）に仕上げておいてください。脱水時の振動で本体が動く場合があります。

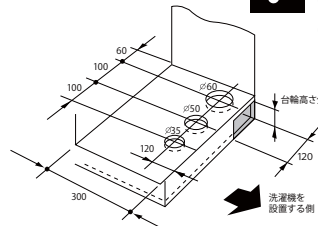
禁止例



- ❗ 本体を隣接キャビネット/天板/床にコーキング剤等で固定しないでください。

隣接キャビネットの開口

- ❗ 別途外形寸法図をご参照の上、給排水と電源設備の位置をご検討下さい。

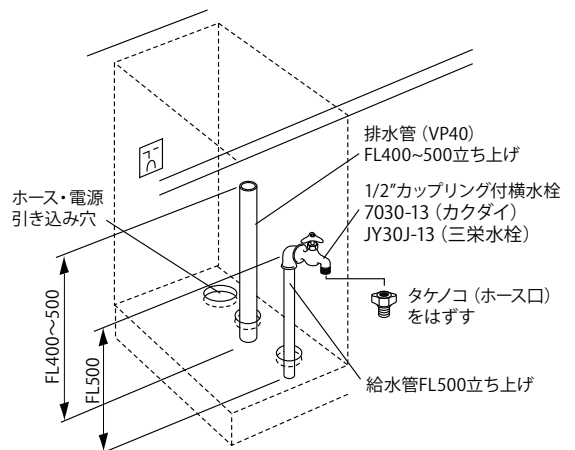


- 給排水のキャビネットは左右いずれかに設置してください。

- ❗ 設置を本体右側に設ける場合、給排水ホースが届かない場合がありますので、別途給排水ホースをご注文ください。(有料)

給水・排水・電源設備 - 1

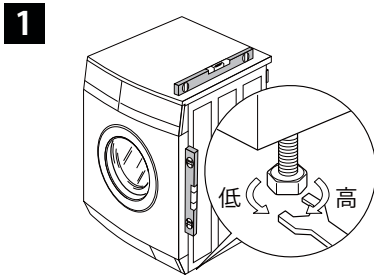
- ❗ 給排水工事は水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。
- ❗ 電源は洗濯機1台につき1専用回路を設けてください。
 - 単相200 V20 A、ブレーカ使用
 - アース付きコンセント
パナソニック WKS294 (露出型) WN1932 (うめこみ型)
- ❗ 給排水管の設置は必ず左右いずれかのキャビネット内で、ご使用者の手の届く位置に設置してください。
- ❗ アース工事を必ず行なってください。(D種接地工事)



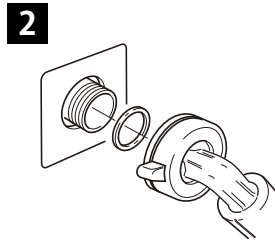
本体設置 **!** 本体の水平調整は必ず行ってから設置してください。

E

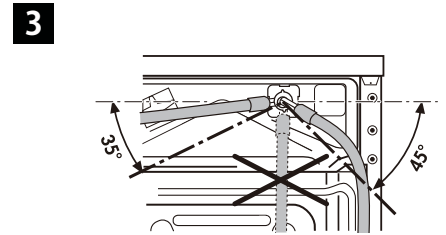
設置／ビルトインの手順



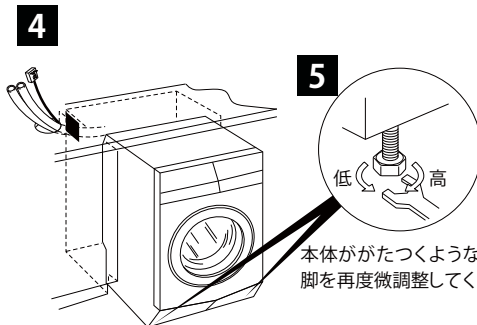
本体上面左右、前後に水平器を置き、本体が水平になっていることを確認します。手で前後左右に押したときがたつきがある場合は、本体底部の調整脚で水平微調整を行ってください。



本体上部の取付口に給水ホースを取りつけます。(パッキンを確認してください)
*しめつけは手でしっかりと行ってください。



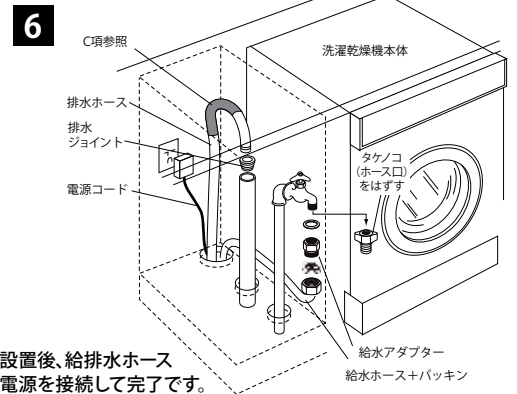
給水ホースは必ず、左右どちらかにふっつけてください。角度に注意してください。一次側水栓取付位置により、給水ホースが届かない場合があります。その場合は、本体うしろの給水ホース取付をゆるめて、左右どちらかにホースをふり、再度取付直してください。その際、水もれに注意してください。必ず増し締めをしてください。



本体ががたつくようなら前調整脚を再度微調整してください。

給排水ホース、電源コードを束ねて引き込み穴から隣接キャビネットへと引き込みます。それに従って本体を押し込みます。

! 調整脚は本体の水平を保つためのものです。高さの調整をするものではありません。



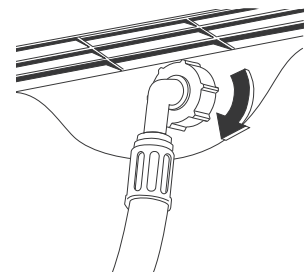
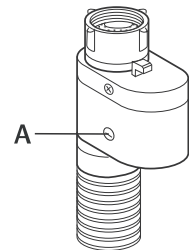
設置後、給排水ホース電源を接続して完了です。

! 設置完了後、必ず試運転を実施し、水もれ、漏電が発生していないことをしっかりと確認してください。

●給水ホースを点検していますか？

水漏れ検知装置が給水ホースの先端(水道蛇口側)についています。この装置は、長期間使用によるホースの劣化による水漏れを検知します。二重ホースの内側に水漏れを検知するとAのウインドに赤いサインが表示されます。

給水ホースの本体側の先端は、左右自由に向きを変えられます。本体との接続部はねじ込み式になっています。設置の際には必ず水漏れがないように常に締め付けていることを確認してください。



! 給水ホースは長期間使用しますと劣化により水漏れの可能性があります。必ず定期的に点検してください。

エレクトラックス・ジャパン株式会社
白物家電事業部

●お問合せは
東京 〒108-0022 東京都港区海岸 3-2-12 安田芝浦第2ビル
TEL (03) 5445-3363 FAX (03) 5445-3362
大阪 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 10-34 日本生命江坂駅前ビル7F
TEL (06) 6337-3244 FAX (06) 6337-3129